

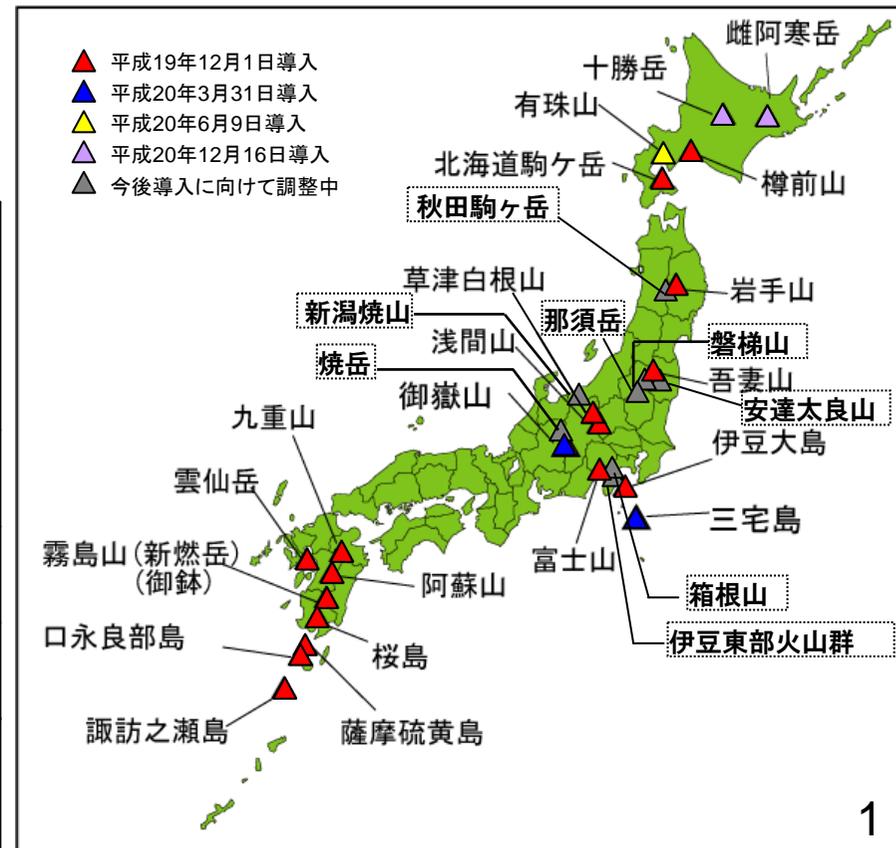
噴火警戒レベルの導入状況

資料 3

- 気象庁は、平成19年12月1日に噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や必要な防災対応を踏まえて5段階に区分した噴火警戒レベルを導入した。
- 平成19年12月に16火山で導入されて以降、地元自治体や関係機関等との調整を図り、平成21年2月現在、21火山で導入されている。
- さらに、那須岳・秋田駒ヶ岳・磐梯山・安達太良山・箱根山・伊豆東部火山群・焼岳・新潟焼山に噴火警戒レベルを導入する方向で、地元自治体や関係機関等と調整を行っているところである。
- レベル導入済みの火山においても、レベル4・5におけるより具体的な防災対応については、今後関係機関と連携し、検討を進めていく。また、観測体制の充実や技術力の向上を図り、適時適切に警報を発表できるよう引き続き努めていく。

噴火警戒レベルの導入経過

平成19年 12月	16火山	樽前山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、浅間山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢、新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
平成20年 3月	2火山	御嶽山、三宅島
平成20年 6月	1火山	有珠山
平成20年 12月	2火山	雌阿寒岳、十勝岳
調整中	8火山	那須岳、秋田駒ヶ岳、磐梯山、安達太良山、箱根山、伊豆東部火山群、焼岳、新潟焼山



噴火警戒レベルの発表状況

		桜島		浅間山		霧島山		口永良部島		雌阿寒岳	
2007年	12月1日	レベル2		12月1日	レベル1	12月1日	レベル1	12月1日	レベル2	12月1日	平常
		↓			↓		↓	1月25日	レベル1		↓
	2月3日	レベル3			↓		↓		↓		↓
	2月20日	レベル2			↓		↓		↓		↓
		↓			↓		↓		↓		↓
	4月8日	レベル3			↓		↓		↓		↓
		↓			↓		↓		↓		↓
	7月14日	レベル2			↓		↓		↓		↓
	7月28日	レベル3			↓		↓		↓		↓
		↓		8月8日	レベル2		↓		↓		↓
2008年		↓		8月	(ごく小規模な噴火)		↓		↓		↓
	8月28日	レベル2		10.11.14日		8月22日	レベル2		↓		↓
		↓			↓		↓	9月4日	レベル2		↓
		↓			↓		↓		↓	9月29日	火口周辺警報
		↓			↓		↓		↓	10月17日	平常
		↓			↓	10月29日	レベル1		↓		↓
		↓			↓		↓	10月27日	レベル3	11月17日	火口周辺警報
		↓			↓		↓		↓	11月18日	(ごく小さな噴火)
		↓			↓		↓		↓	11月	(ごく小さな噴火)
		↓			↓		↓		↓	28~29日	(ごく小さな噴火)
		↓			↓		↓		↓	12月16日	レベル2
		↓			↓		↓		↓		↓

※警報発表状況の詳細は参考資料を参照

- 補足) 1. 諏訪之瀬島・薩摩硫黄島は平成19年12月1日より、
また三宅島は平成20年3月31日より **レベル2** を発表している。
2. 平成19年12月1日より、硫黄島に噴火警報(火口周辺危険)、
福徳岡ノ場に噴火警報(周辺海域警戒)が発表している。